

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	ホーム独自の理念を玄関や職員トイレに掲示している。大項目3、小項目11と多く、職員間で共通認識を持ち意思統一することが難しい面もみられ簡潔でイメージしやすい文言を模索している。	簡潔で要点を押さえ、誰もが共感し、職務の向上につながるものを作り上げたい。	簡潔にし、幸楽の里らしい理念にしたいということは、昨年からの課題である。全職員に公募したがこれはというものが無い。今までの物を変えようと難しく考え過ぎていたので施設運営の基本に戻り、根幹となるものをシンプルに表現したい。	6ヶ月
2	4	地域運営推進会議には家族様、利用者様の出席に至っておらず、地区区長、老人会会長、介護保険課長、時施設職員の参加とメンバーは決まっており、その話し合いの中では意見や情報を交わしている。	家族様への開催の案内は幸楽の里新聞や面会の時口頭でしている。 今後も家族様に根気よく説明し参加をお願いする。	特に意見は言わなくてもいいから、気楽に出席してくださいと説明する。 出席が無理なら、意見をメモしてもらい、会議で報告する。	4ヶ月
3	35	昨年の目標は達成できなかったため、本年は6月は事業所、9月には消防署参加の訓練を予定している。職員は避難経路など個々に想定し事があった時の心構えをしているが、不安感もある。	まず職員の多い、日中の火災訓練が迅速に出来るようにしたい。	平成24年の行事計画では6月に火災訓練の予定であったが、8月に訓練を行う予定だ。 以前からの懸案であった歩行不安定な利用者さんを2階から誘導する方法の1つを実行してみる。(利用者さんに見立てた職員をシーツにくるんで二人介助で下す)。	1ヶ月
4	35			夜間については、まず何が問題になるかをリストアップして検討する。	4月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。